



市民活動の新たな挑戦

いろいろな悩みや不安、難題を抱える人たちを支え、問題解決に積極的に取り組む市民活動は各地ですそ野を広げている。ファイザー製薬ではヘルスケアの分野の市民活動を支援し、その社会的認知を高めることを目的に、2000年から助成プログラムをスタートさせた。過去の実績にとらわれずに、活動のユニークさと将来性に評価の重点を置いているのが特徴。2001年度の助成対象となった各プロジェクト(左頁参照)を中心に、9回連続(今回は1回目)でレポートする。



「ママ」さんこと森泉早苗さんを中心に、宅配のお弁当づくりに励む女性たち。明るく元気な声がいつも響いている



DVや性的被害を受けた女性たちの社会復帰を支援する自然派レストラン

地域生活支援ネットワーク女性ネットSaya-Saya(東京都)

自然派レストラン「Saya Saya」は東京の下町、荒川区町屋にある。一見どこにもありませんが、ここはDV(家庭内暴力)や性的被害を受けた女性たちの自信を取り戻していくための相談と支援の場であり、野本律子さんと松本和子さんが共同代表者として運営する女性ネットSaya Sayaの中核拠点である。



Saya-Saya共同代表者の野本律子さん(右)と松本和子さん

野本さんと松本さんがSaya Sayaを立ち上げたのは2000年の6月である。野本さんは十数年前からアルコールや薬物依存症で悩む家族の支援を行っていたこと、また、自身もDV被害者であった経験から、暴力被害を受けた女性たちを緊急的に避難させるシェルターを立ち上げたりした。一方の松本さんは東京・山谷で、路上生活者に多いアルコール依存症の人たちの支援を続けていた。そんな二人が知り合い、お互いが共通している問題を語り合うようになる。DVや性的被害を受けた女性たちの多くは、加害者から身を隠し、同時に今までの生活基盤や人との繋がりを失い、社会から孤立している。そんな彼女たちに、新たな地域との関わりを作り、自立していく自信と力を取り戻していける場をも

つけることだった。それを形にしたのがSaya Sayaだ。店では、病院で糖尿病患者用の調理を担当していた森泉早苗さんと2名のボランティアと共に、被害女性19名がローテーションを組み、650円の日替わり定食や弁当づくりなどを行っている。また、有料の面接相談や無料の電話相談、さらに被害女性と一緒に役所に向いて生活保護の申請をしたり、一時保護のためにシェルターと連絡を取ったり、活動は多岐にわたる。「ここで働く女性たちの中には、男性に今だに恐怖心を感じている人もいます。特に、性的被害を受けた女性の精神的なショックは大きいんです。精神面や経済面でのサポートをしながら、彼女たちが自信を持って新しい生活へ踏み出せるようにしてあげたい。ここはその最初のステップで、経営的にもまだ赤字続きですが、将来的にはもっと活動の場を広げていきたい」と語る野本さんの背後で、忙しげに働く女性たちの声が明るく響いている。

若年層の薬物依存症者とその家族を共にサポートする

特定非営利活動法人 セルフ・サポート研究所(東京都)

「仲の悪い両親の間にはさまれて、自分がいい子でいれば父と母が喧嘩することもないだろう」と思い続けて

きた。大学に入ってようやくいい子であることから解放されたと思ったとき自分が何をしたいかわからなくなっ

2001年度
助成対象プロジェクトの
団体名・活動内容・
主な活動地域

新規助成

1	札幌市ホームレス者の健康支援と実態調査 北海道のホームレス者の健康支援を行う医師・医学生会の会(札幌市)
2	障害児・者とその家族のための生活支援サービス促進事業 サポートハウスばお(埼玉県蓮田市)
3	暴力被害女性支援 自然派レストラン・喫茶Saya-Saya 事業 地域生活支援ネットワーク・女性ネット Saya-Saya(東京都荒川区)
4	薬物依存症の青少年のためのデイケア事業 特定非営利活動法人セルフ・サポート研究所(東京都江東区)
5	障害児・者に対するダンスワークショップ 特定非営利活動法人ボーロニア協会(東京都江東区)
6	DV被害女性及び同伴者の緊急一時保護事業 FTCシェルター(東京都)
7	ひきこもりサポートプロジェクト 日本アダルトリトルン協会(JACA) (東京都世田谷区)
8	山山介護支援事業 特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会(東京都台東区)
9	思春期の自立と精神保健を育むピアサポート事業 ティーンズがスト(東京都町田市)
10	不登校の子ども達のための六浦共同生活生活体験合宿 特定非営利活動法人ココロブスアカデミー(神奈川県横浜市)
11	横浜寿町「さなぎの家」 なんでもSOS班 特定非営利活動法人さなぎ達 (神奈川県横浜市)
12	障害者の地域生活を支える民間レスパイト事業 エビニの会(愛知県名古屋市中)
13	釜ヶ崎地域における「終わりなき」生活支援事業 木曜夜まわりの会(大阪府大阪市)
14	拘留所に収監中の薬物依存者へのインタビュー・プログラム フリーダム (大阪府大阪市)
15	日本在住外国人のための医療支援事業 社団法人まちづくり国際交流センター(奈良県橿原市)
16	不登校の子どもたちの健康と体力づくりを考える 神戸フリースクール(兵庫県神戸市)
17	高機能広汎性発達障害の子ども達のサポート事業 岡山県高機能広汎性発達障害児・者の親の会(岡山県岡山市)
18	10代の生と性を考える ドラマスクールin三原 みはらおやこ劇場(広島県三原市)

継続助成

19	ショッピングセンターの機能を生かした福祉サービス 特定非営利活動法人自立支援センターファイア(青森県上北郡下田町)
20	チャイルドライン千葉「子ども電話」 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター(千葉県千葉市)
21	川崎ホームレス保健プロジェクト 「冬を生きぬき、春を呼びこめ」 川崎水曜/日/土の会 (神奈川県川崎市)
22	中等教育を補う「コミュニティ・スクール」の実現をめざして 特定非営利活動法人リベラヒューマンサポート(静岡県三島市)
23	不登校児童・生徒の支援に係わるセミナー開催事業 特定非営利活動法人フレンヒューマンティ(兵庫県西宮市)
24	精神障害者のための「ついで」事業の普及と納得いく障害者を持ちながら自立と納得いく社会参加を目指すふいあいセンター (沖縄県那覇市)



薬物依存症本人の体験談を聞いたり、同じような問題をかかえる家族同士が出会うことで家族関係の回復をめざすグループ・カウンセリング。日頃、自分の子供たちからホッペを聞くことの少ない親たちにとって貴重な体験の場となっている。



薬物依存症者と家族のための研究所を開設した加藤力代表

10代から30代の回復途中にある薬物依存症の若者たちと同世代の依存症を子に持つ母親たちとの合同カウンセリングでの発言である。

6年前に研究所を開設した加藤力代表(臨床心理士)は、かつての精神病院での勤務経験から薬物依存からの回復には家族へのカウンセリングが重要と感じていた。

「依存症というのは病院や更正施設に入れて薬物から隔離すれば直るといって病気で直るのではない。本人の努力はもちろんのこと、特に若者の場合、同じ悩みを持つ同世代の自助グループによる心の支えや、当事者を支える家族のためのプログラムを充実させて本人とのかかわりを見直していくことが大きな力になる」

セルフ・サポート研究所では、薬物依存症者本人と家族を含めたこうしたグループ・カウンセリングをはじめ、家族自身の病・共依存からの回復を助けるための教育プログラムや各種プログラム、個別相談、電話相談などを行って、家族を取り巻くさまざまな問題解決をはかっている。

「まさか自分の娘が薬物をといて思いでした。相談する施設が見つからず、困惑した。ここに来て、同じ悩みを持つ人の話が聞け、心が安らいだ。今は私自身が自分の問題として理解し、適切な対応の仕方を身につけたい」

「クスリに手を出した」
「シンナーなんかいつでもやめられると思ってた。それが少年院から出てきて一週間もしないうちにまたスリッパ(再発)した」

「同研究所で依存症本人を対象にしたデイケア・センター」を担当する鈴木文一さんは、「薬物依存症は薬物の濫用が原因になるのは事実ですが、逆にいえば依存症という病気だからクスリがやめられなくなるんです。ここでは、薬物乱用によって支障をきたした日常生活を立て直し、仲間同士の支え合いの中で薬物に頼らない生活をそれぞれがベースで学ぶプログラムを提供しています」といいます。

鈴木さん自身、薬物依存症からの回復者だけに、その言葉には説得力がある。

【ファイザープログラム】
心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援
2002年度 募集要項

1. 募集期間: 2002年7月1日～8月13日
2. 助成金: 1件あたり300万円を上限とし、本年度は15件程度の助成を予定しています
3. 助成の期間: 2003年1月1日～12月31日(1年間)とします
4. 対象となる分野: 特に次のようなプロジェクトを重視します。
 - 1) 成長過程にある人たちの心身のすこやかな発達を支援する活動
おもに10代が抱える問題を克服し生きる喜びをもつことを助けるもの
 - 2) 社会的な受け皿がないために保健・医療を受けられない人たちの心身のケアを支援する活動
外国人、路上生活者、PTSD(心的外傷後ストレス障害)などの人たを対象とするもの
 - 3) 障害をもつ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動
身体障害、知的障害、精神障害などの人、難病、長期療養にある人たちの社会生活を豊かにするもの
5. 問い合わせ先: ファイザー製薬株式会社 企業文化部 03-3344-7524
応募要項はホームページからダウンロードできます <http://www.pfizer.co.jp>